

大原社会問題研究所五十年史

Ⅴ 戦後

「赤松文庫」「東芝資料」等の受入れ

一九五六～六〇年 昭和三一～三五年 研究所の業務は、図書資料の集収と整理、年鑑の編集と刊行、調査研究という三部門を中心にすすんだ。一九五六年度の調査研究事業としては、二カ年つづいた水産庁委託による「漁民運動の研究」終了後、ひきつづき本年より「漁民生活費調査」がおこなわれることになった。研究員は福島県平市といわき市小名浜に出張し、漁民に生計費調査票を配布し、また聴取り調査を実施した。

経済企画庁よりの委託調査としては「中小企業における労働者の状態」をテーマとして共同研究をおこなうことになった。これはわが国産業構造の底辺にある広範な中小企業、零細経営の労働者の状態を——労働力構成、労働力移動、労働力の給源、賃金その他の労働条件を具体的に、実態調査にもとづいて分析し解明しようとするものである。研究計画を検討した結果、五六年十一月より二年がかりで三重県松坂市、津市、桑名市、上野市、志摩半島等各地の実態調査を実施することになった(この共同研究の成果はのちに東洋経済新報社より『中小企業労働者論』として刊行された)。

この年、三つのまとまった社会運動資料が研究所の書庫にむかえいれられた。第一は日本農民組合統一派本部書記局より寄贈された戦後農民運動関係原資料類である。第二は故赤松克麿氏の遺族より寄贈をうけた「赤松文庫」で、戦前社会運動関係の単行本、機関誌その他貴重な資料をふくむもの。第三は一九四六年の産別十月闘争で知られた東芝労連関係の資料。これは十一月、石井弥次郎氏(旧東芝労連中央執行委員)と研究所間の取りきめにもとづき、五七年春になって移管が実現した。このほか、法大社会学部村山重忠教授より戦前の社会運動関係機関誌紙の寄贈をうけた。

また、本年六月有斐閣より刊行された経済資料協議会経済学文献季報編集委員会には、研究所より永田利雄職員が参加し、『経済学文献季報』の編集に協力することになった。この経済資料協議会には、東大社会科学研究所、一橋大経済研究所、大阪市大経済研究所など全国十数大学あるいは研究所が参加しており、わが大原研究所もこれに積極的に参加した。そして文献季報の編集においては労働問題関係の文献目録作成を担当することになった。ちなみに右の『経済学文献季報』は五六年六月第一号発刊いらい、現在(一九六九年一二月)までに五四号の刊行を見ている。

一九五六年度の研究所刊行物としては、年鑑のほか、前記の『失業者の存在形態』(東洋経済新報社)があり、ほかに「農民運動史資料」第二号『日農分裂問題資料』(一九二六—二七年)がある。これは、戦前の農民組合運動の中で発行されたビラ、報告類や肉筆原稿、信書、メモ等、そのほとんどは従来全く未発表のまま当研究所に所蔵されていた原資料を、そのまま忠実に再現し、整理して発表したもので、以後、原則として年一冊ずつ刊行されることになった。これとほぼ同じ性格をもつ「労働運動史資料」は、さきに「婦人運動史資料」を刊行したほか、一九五六年に『関東合同争議調査記録』が刊行され、この後も年一冊ずつ刊行されることになった。

一九五七年経済学辞典の編集準備、年鑑編集、中小企業調査、漁民生計費調査、原資料整理等

の業務は前年にひきつづき進行した。またこの年、文部省科学研究費の交付を受け、「第一次大戦後におけるわが国の社会運動」について共同研究をおこなった。

この年の春、宇佐美誠次郎研究員(理事)が法政大学在外研究員として一カ年間ドイツに留学することになった。その不在中は大島研究員が理事代理となった。また、原助手はこの年より講師待遇の研究員となった。

五七年度中の研究所の出版物としては、『日本労働組合評議会資料』(その二)が刊行された。

一九五八(昭和三三)年一月、愛知大学経済学部細迫朝夫講師を当研究所内地留学生として受け入れることになった。労働問題を中心に一カ年研究したいというので、所蔵文献の閲覧等便宜をあたえることにした。

三月には外国留学を終えた宇佐美研究員が出所した。四月五日、高野岩三郎先生追憶会には、大内兵衛総長が「統計学者としての高野先生」と題して講演をおこなった。

この年度の調査研究事業としては、中小企業労働調査のとりまとめ、経済企画庁委託による「わが国失業構造とその景気循環的変動」の研究等であった。

また出版物としては、年鑑のほか、『日本労働組合評議会資料』(その三)、『農民組合合同問題資料』等がある。

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行法政大学大原社会問題研究所

[前のページ](#) ← [法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】](#) → [次のページ](#)

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

[法政大学大原社会問題研究所\(http://oisr.org\)](http://oisr.org)
